

道徳科 学習指導案

日時	平成30年7月5日(木) 3校時
児童	小学校 1年組 名
授業者	

1 主題名 人に温かく接し、親切にする心【B 親切 思いやり】

2 教材名「はしの 上の おおかみ」(小学どくとく1『はばたこう明日へ 1』教育出版)

3 主題設定の理由

(1) ねらいと価値について

- ・内容項目について
- ・指導にあたって

物語をはたから見る傍観者(他人事=きれい事に終始できる立場)にならず、自分事としておおかみの心情に思いを馳せられるように留意したい。

教材文を通して考えさせたい点は、以下の点である。

- ①うさぎたちに意地悪をしてゆがんだ優越感を感じていた時のおおかみの心情。
- ②くまに萎縮していたおおかみがくまから思いもよらない親切を受け、自分もくまのような行動をとろうという気持ちへ至った心のうごき。

教材文を通して道徳的な価値を一般化できること目指したいが、この時期の1年生には難しいと考える。低学年の発達段階における「物語文の登場人物に深く感情移入できる」という特徴を生かし、感情移入をした上で「具体的でよりよい行動」を考えられるよう促したい。

また、現実にそぐわないような「優しい競争」の思考に偏りすぎないようにしたい(はしをもう一本かけてあげる、だっこして通るなど)。一方、効率的な方法追求のみに終始するようになっていけない。くまの行動は決して効率のみを追求した行為ではなく「相手へのあたたかい気持ち」に支えられている、ということを感じさせたい。

児童の日常生活の中から教材文の場面に類似した場面を提示し、実際にどう行動するかを考えさせることで、より「自分事」として捉えられるようにしたい。

(2) 児童の実態

本授業を行うにあたり、ねらいとする価値に対する児童の実態を把握するため、道徳性に関するアンケート調査を実施した。本時に関連する項目Bの結果は次の通りである。

項 目		ア	イ	ウ	エ
B	1	まわりのひとにしんせつにしている。			
	2	じぶんにおせわしてくれる おにいさん や おねえさん、おとなのひとにありがとうといっている。			
	3	あいさつや へんじを しっかりしている。			
	4	ともだちと なかよくして たすけあっている。			

本時では「おおかみ」の立場になって、よわいものいじめをしている時の気持ち、くまに対して萎縮してしまう時の気持ち、さらに、おおかみに意地悪されているときのうさぎたちの気持ちなど、いろいろな立場になることで、「している側」「されている側」双方の気持ちの違いに目をむけさせたい。

(3) 教材について

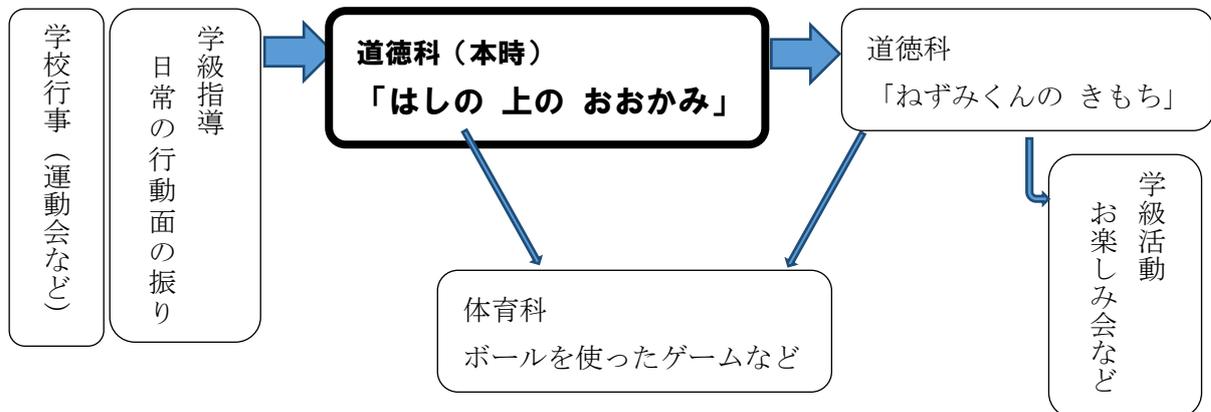
本教材は、児童文学者奈街三郎の作によるもので、長きにわたって道徳の定番教材として親しまれてきた。

自分より小さい動物（弱者）に意地悪をして楽しさを感じていたおおかみが、自分より体の大きなくまに思いもよらない優しさを受け心が動き、自らも優しくなるという内容である。ここで考えさせたいのは「おおかみの変容」と「その変容の要因はなにか」である。それまで意地悪だったおおかみがくまによる親切に出会ったことで心が動いたことを知り、自らも身近な人に親切することで心地よさを感じることに気づき、よりよい生き方・生活の仕方につなげたい。

4 他の教育活動とのつながり

【他の内容項目との関わり】

- A 善悪の判断、自律、自由と責任／節度、礼節
- B 友情、信頼
- C 公正、公平、社会正義／よりよい学校生活、集団生活の充実



5 指導の工夫

(1) 導入時における「問題意識を持たせるような効果的な発問」

多くの児童にとって考えやすいと思われる「親切にされたことはありますか？」という発問を用い、これから始まる学習活動を「自分事」として考えやすくしたい。

(2) 展開時における「議論しやすい、議論になる効果的な中心発問」

本時の中心発問は「おおかみの態度が変わった理由を考えよう。」とする。この場面の直前にくまの親切があるのでそれを要因と考える児童が多いと考えられ、多様な考えはでてこないと予想される。そのため、議論の形までならないと思われる。児童の発達段階とこの題材の内容を考え合わせ、今回は「異なる考えを交わし合う議論」ではなく、『自分の考えを持ち、表現する』という、今後議論をする上で必要な下地作りを目指したい。

(3) 展開時における「目的に応じた効果的な話し合い活動」

(2) から派生する、おおかみの気持ちを動かした「くまを見送る心のセリフ」を交流する。ここも、1年生の語彙では多様な表現をすることは難しく、同じ言葉・同じ趣旨の反応が多いと予測され反応が偏る可能性が高いが、それぞれ「自分の考え」として認めていきたい。

(4) 道徳的価値を道徳的実践につなげる手立て

教材文での学習のあと、身近で起こりうる図書館での事例をとりあげ、その場で自分ならどうするのが望ましいか考える活動を取り入れる。

(5) 思考を深める手がかりとする板書

資料に込められた道徳的価値がきちんと伝わらなければその資料を用いる意義が半減してしまう。そのためには、最低限資料の内容把握が前提条件になる。しかしながらそのために、国語の読解教材のように読み取りそのものに時間を費やしては本来のねらいからそれてしまう。

児童が短時間で概要が把握できるように、資料の展開に合わせた場面絵やキーワードとなることばを掲示する。

また、それぞれの場面で児童が考えた「おおかみの心情」「小動物の心情」を場面絵に合わせて板書する。それにより、時系列でどんな事柄により、おおかみの心情・行為がどう変わっていたのか理解する手がかりとしたい。

6 目指す児童の変容

授業前：①自分の利益や優越感のために相手（弱者）を軽んじる態度。
②優しさ＝「相手のいいようにする」（相手の利益のみに視点）になるという短絡的な思考。

授業後：①弱者を軽んじることなく、相手のためにできることをする態度
②「自分がしてもらって心地よいことをする。」「この場ではどんな方法がよりよいものか」に向かう思考。

7 本時について

(1) 本時のねらい

- ①くま出会う前後のおおかみの心情に思いを馳せ、親切にすることで自他ともに心地よさを感じる事を知り、相手に対し優しい気持ちで温かく接し、親切な行動ができるようになる。
- ②問題場面を自分事としてとらえ、自分の考えを持つこと。

(2) 本時の展開

	主な学習活動（○指示・発問 ◎中心的な発問）	指導の留意点 △支援 □評価
導入 3分	(1)「ありがとう」についての経験を想起する。 ○だれかに「ありがとう」と言ったり、自分が言ってもらえたりしたことはありますか？ ○先日図書館で見た「ありがとう」の場面について話す。	

<p>展開前半</p> <p>30分</p>	<p>(2) 資料「はしの上のおおかみ」の前半を聞き、話し合う。</p> <p>○内容を確認する。(おおかみのうさぎたちへの行動・ある日くまに出会ったこと)</p> <p>○うさぎたちに意地悪をし『えへん、えへん』と言った時の、おおかみの気持ち、言われたうさぎたちの気持ちを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おおかみ(動作化「えへん、えへん」)→いい気持ち。いばってるみたいな感じ。意地悪な気持ち。 ・うさぎたち→こわい。 <p>○この時のおおかみとうさぎたちの気持ちを色で表す。</p> <p>面白い、楽しい、満足など『気分がいい』は赤。</p> <p>つまらないとかさみしいなど『気分が良くない』は青。</p> <p>色で塗り分け、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うさぎたち→青が多い。 ・おおかみ→赤が多い? <p>○くまと出会った時のおおかみの気持ちを考える。</p> <p>→こわいなあ、よけないと怒られる、いじめられる・・・</p> <p>○この時のおおかみの気持ちを色で表し、発表する。</p> <p>→青。さきほどのうさぎたちと同じ立場になっていることを感じさせる。</p> <p>(3) 資料「はしの上のおおかみ」の後半を聞き、話し合う。</p> <p>○内容を確認する。(くまのおおかみへの行動・次の日のおおかみが変わっていること)</p> <p>(4) 主発問について考える。</p> <p>◎主発問「おおかみの気持ちがどうなったかを考えよう。」</p> <p>①くまのうしろすがたををいつまでもみているおおかみの気持ちを考え、心のせりふに表す。</p> <p>→びっくりした。うれしかった。くまはすごいなって思った。ありがとうって思った・・・</p> <p>②おおかみが「まえよりずっといい気もち」になれたのはなぜでしょうか。</p>	<p>△場面絵を用い、教材文の概要をつかむ手立てとする。</p> <p>△それぞれの場面でのおおかみの気持ちになり、次の点について考えさせる。</p> <p>①意地悪をする快さ</p> <p>②卑屈な思い</p> <p>これまでと立場が逆転することへの恐怖・卑屈さに気づかせる。</p> <p>△挿絵では後ろを向いている熊の表情を考えさせる。</p> <p>□ワークシート・発言</p> <p>・「されて嬉しかったことを自分もしてあげたい。」という気持ちがあ</p>
------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>→嬉しい気持ち。いいことをした気持ち・・・</p> <p>○この時のおおかみとうさぎたちの気持ちを色で表して発表する。 ・うさぎたち→赤。 ・おおかみ→赤。 この行動はどちらも心地よいと感じることを確認する。</p> <p>○ハートメーターのうつりかわりを振り返る。 前半はおおかみは赤（心地よい）が、うさぎは青（不快）。 後半はおおかみもうさぎも両方赤。 はじめ青だったうさぎが赤になれたのは、おおかみが優しい気持ちを持ったからであることを確認する。</p>	<p>ったことを確認する。</p> <p>③親切にする快さ</p> <p>.</p>
<p>展 開 後 半 1 0 分</p>	<p>(5) モラルスキルトレーニングをする。</p> <p>○「楽しく本を読んでいる時、小さい子が「その本を貸して」と言ってきたらどうしますか？考えてみましょう。」</p> <p>→いやだ、と言う。後で貸してあげる。一緒に見る。貸してあげる・・・</p> <p>○どんなふうと言ってあげたらいいかな？</p> <p>→役割演技をする。</p>	
<p>結 末 2 分</p>	<p>(6) 学習のふりかえり</p> <p>○これから、私たちはどんなことができるか、考えてみましょう。</p> <p>→遊び物をいっしょに使う。相手にゆずってあげて、後から使う・・・</p>	<p>・今後の生活につなげる。</p>

(3) 本時の評価

- ①立ち去るくまの姿をいつまでも見ている時、くまと同じように相手に親切にしたいと考えた時、それぞれの時のおおかみの心のセリフを自分のことばであらわすことができたか。(発言・ワークシート)
- ②これからの自分の生活で「相手と自分にとって望ましい行動のしかた」を考えようとしているか。(発言)

9 板書計画

はしの上のおおかみ

おおかみ

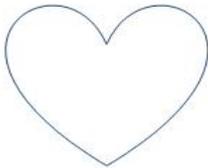
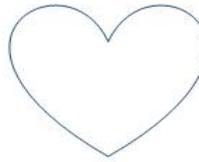
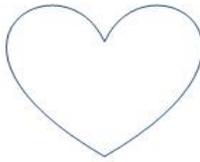
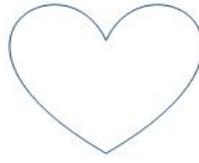
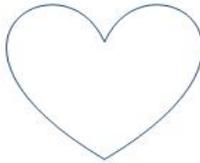
おおかみ

はしの^う上の^うおおかみ^う1^うなまえ



うみぎの
きもち

おおかみの
きもち

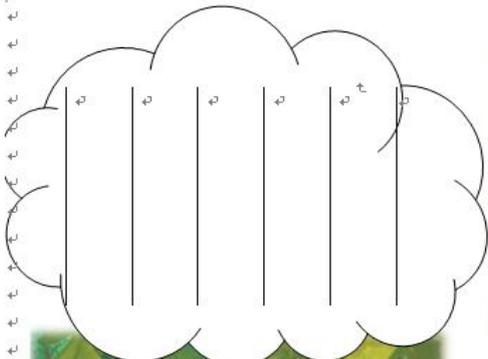
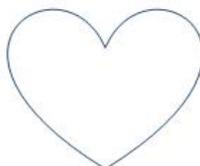
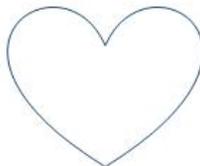


はしの^う上の^うおおかみ^う2^うなまえ



うみぎの
きもち

おおかみの
きもち



「**あなたなやうにうつくしまいか?**」

□□あなたが□たのしく□ほんをよんでいます。

□□「にちいきらこがきて」そのほんをよませて「と

いわれました。あなたは、どうこたえますか。」

